

東京大学医学部附属病院 胃・食道外科にて
「切除不能進行胃癌におけるニボルマブ治療前後（early
on treatment）の腫瘍免疫応答の解析」
に参加された方へ

この研究に参加された方で、遺伝子変異情報を提供者の個人情報明らかにしないようにしたうえで、データベース（Japanese Genotype-phenotype Archive (JGA)）上で公に発表されることを希望されない場合には 2023年9月30日までに 末尾に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

【研究課題】

切除不能進行胃癌におけるニボルマブ治療前後（early on treatment）の腫瘍免疫応答の解析（審査番号 P2017008）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科 消化管外科学

研究責任者 瀬戸 泰之（東京大学大学院医学系研究科 消化管外科学・教授）

担当業務 研究計画立案・データ取得・データ解析

【研究期間】

承認日～2025年9月30日

本研究は長期にわたる研究を計画しています。記載の研究期間終了後も継続する場合は、研究期間延長の申請を行う予定です。

【対象となる方】

2017年10月4日～2019年7月31日の間に 当院胃・食道外科で「切除不能進行胃癌におけるニボルマブ治療前後（early on treatment）の腫瘍免疫応答の解析」に参加された方。

【研究計画書の変更点】

この研究で得られた成果を学術雑誌に公表するにあたり、「遺伝子変異情報を提供者の個人情報明らかにしないようにしたうえで、データベース（科学技術振興機構 (JST) と科学技術振興機構バイオサイエンスデータベースセンター (NBDC) が共同で運営し一定の制限（審査）のもとで公開される Japanese Genotype-phenotype Archive (JGA)）上で公表する」ことが追記されました。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）の遺伝子変異情報を提供者の個人情報データベース上で公に発表されることを希望されない場合には主治医にお伝えいただくか、下記の問い合わせ先に 2023年9月30日までに ご連絡ください。希望されな

い場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

【利益相反について】

本研究の主たる研究組織である東京大学大学院医学系研究科・消化管外科学は、試験薬ニボルマブの製造販売元である小野薬品株式会社からの受託研究費を受領しています。試験治療は保険診療の範囲内で行われ、解析に受託研究費が使われます。

本研究の共同研究医師は、株式会社富士通研究所と遺伝子解析に係る共同研究を実施しており、株式会社富士通研究所から3名の研究員が本研究に研究補助者として参加し、技術的な補助を行います（データの解釈や評価には関与しません）。

研究責任者・研究分担者の利益相反は、利益相反アドバイザリー機関に申告し、マネジメントを受けています。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2023年9月

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者：瀬戸 泰之

連絡担当者：佐藤 靖祥

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院医学系研究科 消化管外科学

東京大学医学部附属病院 胃・食道外科

電話：03-3815-5411（内線 30331）

e-mail：yasuyoshi@hotmail.com（研究事務局）